

「作る技術から、治す技術へ」（有限会社津田製作所）

取組の概要

プリント基板の製造を長年続ける中で、メーカーのサービス終了や老朽化により困っているお客様の声に応え、5年ほど前にメンテナンス事業を立ち上げました。今では売上の半分以上を占める事業となり、廃棄されるはずだった基板を修理・再生することで、資源保護と廃棄物削減に貢献しています。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

基板の老朽化により、製品の維持が困難になるお客様の声が増加。実は“作るだけでなく、治す力も持っていた”技術者たちの知見を活かし、メンテナンス事業を立ち上げた。技術者の技術力は十分に備わっていたが、社内体制や設備面に課題があり、補助金などを活用して測定器を導入したり、修理体制の強化に取り組んだ。

解決に向けた具体策と成果

技術者の知見を活かし、精度の高い診断と修理を実現した。廃棄予定だった基板の延命を可能にし、現在ではメンテナンス事業が全社売上の約半分以上を占めている。

取組による定量的な効果

従業員数：2020年4月49名→2025年4月67名【18名増員】
売上：2020年約3.7千万円→2025年約6.3千万円【170%UP】

取組のポイント

“作る技術”から“治す技術”への転換・・・製造中心だった体制を見直し、技術者の力を活かして修理・再生にシフト。